

ふれあい名古屋

Fureai Nagoya

2026
年
号

CONTENTS

② 福祉クローズアップ

特集

誰もが意思を尊重され、地域で自分らしく
安心して暮らし続けるために

成年後見あんしんセンター 法人後見センター

④ 市社協事業紹介

⑤ 区社協活動最前線 天白区社会福祉協議会

⑥ 想いをつなぐリレートーク

⑦ ほっとはあとコーナー

- 旬ボラに行く！
多様な背景を持つ人々が安心して、自分らしく暮らせる多文化社会へ
【みどり多文化共生ボラネット】
- きらっとボランティア・NPOらいぶ
先人たちから受け継いだ「熱田神楽」を次世代に。【熱田神楽保存会】
- なごやボラめぐり
中区 声で届ける「パンジー声の文庫」
瑞穂区 JAZZで地域を元気に『N・J・T』

⑩ からだに優しいいきいきレシピ

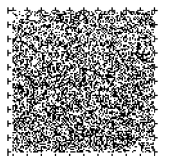
プレゼントつきクイズ

⑪ インフォメーション 社協からのお知らせ

⑫ ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介



ひとに、ひたむきは。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会



▲ Uni-Voice
高齢者や目の不自由な方の
ための音声コードです。

特集

誰もが意思を尊重され、地域で自分らしく安心

名古屋市社会福祉協議会（以下、本会）は、平成11年4月に障害者・高齢者権利擁護センターを開設して以降、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な状態になった方々が、地域で安心して生活が送れるよう権利擁護支援の推進に取り組んできました。その一環として「成年後見あんしんセンター」を運営し、財産管理や身上保護を支援する成年後見制度の利用促進や地域における権利擁護支援のネットワークの構築を進め、市民後見人の

名古屋市成年後見あんしんセンター

副所長 大津裕昭さん

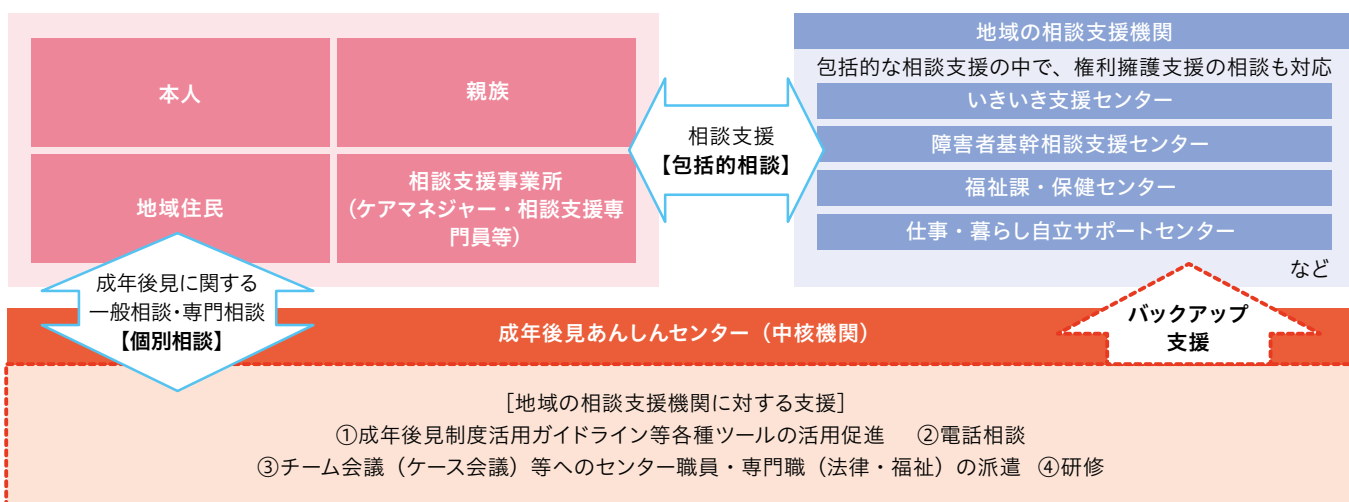
地域における中核機関として、幅広い支援を調整

「名古屋市成年後見あんしんセンター」は、地域における権利擁護支援の中核機関として、市民やその家族・親族、ケアマネジャー、福祉施設、医療機関など多方面から月に200件ほどの相談を受け止めています。

「当センターは、成年後見制度に関する相談や申立て手続きの支援、市民後見人の養成と活動支援など幅広い役割を担っています。相談に対しては、成年後見制度の利用が適切か、あるいは他の支援策（日常生活自立支援事業など）が適しているかを総合的に判断し、最適な選択肢をご案内しています」と大津副所長。

成年後見あんしんセンターは「福祉と司法の橋渡し役」としても重要な役割を担います。いきいき支援センターや障害者基幹相談支援センターといった地域の相談支援機関が支援している複雑な課題を抱えたケースについての相談に対しては、社会福祉士や精神保健福祉士の資格をもつセンターの職員が関わるだけでなく、弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職がアドバイザーとして加わることでバックアップしています。財産の管理や契約など法律に関わる課題も含めて、福祉と司法が連携し、支援者がひとつのチームとなって包括的に解決に取り組み生活を支えるようなコーディネートを行っています。

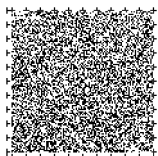
成年後見あんしんセンターと地域の相談支援機関



事例紹介（80代夫婦のケース）

複雑な課題を整理し、生活の安定へ

これまで家計を担ってきた夫が認知症によって判断能力が低下し、預貯金の管理や公共料金の支払いが難しくなり、妻も心身に不調を抱えて生活に大きな不安を感じていました。成年後見あんしんセンターは、地域の相談支援機関、福祉サービス事業者、弁護士や社会福祉士のアドバイザーとともに課題の整理や夫婦それぞれの意思の確認を行いました。それに基づいて、財産管理や法的な課題、福祉的な課題とそれに対して想定される成年後見人の役割を踏まえた候補者調整を行いました。成年後見人が就任したことで、他の支援者とともに課題の解決を図り、本人の意思に基づいた安定した生活を支えています。



して暮らし続けるために

養成と後見活動の支援・監督を行うことで、市民参加の権利擁護支援を広げています。また、地域生活課題への対応強化や地域におけるセーフティネットとしての役割を果たすため、本会の「法人後見センターなごやかぽーと」が成年後見人等の実務を担うことで総合的な権利擁護支援を展開し、誰もが自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

法人後見センターなごやかぽーと

主任 渡邊さくらさん、主事 福島健元さん
人生に伴走する、法人ならではの安心感

「法人後見センターなごやかぽーと」は、家庭裁判所から選任され、法人として後見人等の役割を担います。開設から今まで約100人の支援をしてきました。長い方だと10年以上継続して支援しています。

「法人後見のメリットは、“長期的かつ継続的な支援”ができること。現在、支援する人の中には30～40代の若い方もいますが、成年後見人等の年齢や健康状態に影響されにくく、担当職員が交代しても法人として支援は途切れません。本人の生活を支え、長期的に伴走し続けることができるのです」と渡邊主任。

実際の業務は幅広く、預貯金や財産の管理、介護や医療サービスの契約、入院や施設入所に伴う手続きなど生活基盤に関わることにすべてに及びます。加えて、親族や関係機関との調整役を担うことで、本人を中心とした生活を支えています。

福島主事は次のように続けます。「名古屋市社協が法人として後見事務を担うメリットとして、様々な関係機関とのネットワークがあるため、本人の意思決定支援に係る連携がとりやすいところです。また、後見人の業務は、どうしても『管理』というイメージになりがちですが、自分たちがしているのは、本人のやりたいことを支援していくというものであり、そのための意思決定支援だと思っています。」

事例紹介（60代後半の精神疾患のある女性のケース）

受任当初は本人の精神状態の悪化（精神科入院）や亡くなった夫の相続手続き、今後の居所の検討など複数の課題があり、複数後見人の弁護士と役割分担をしながら支援してきました。精神科の退院と同時に老人ホームへの入所手続きや、自宅の解約などをおこないました。

受任から6年経ったころには本人の生活も安定してきたことで、成年後見人の役割が見守りや本人に寄り添った意思決定の支援を中心としたものに変化したことから、市民後見人に引継ぎました。

最後に

今回は権利擁護支援を担う2つの事業を紹介しました。

ご本人が自分らしく地域で暮らしていくためのお手伝いである権利擁護支援は、本人の生活や権利行使をフォーマル、インフォーマルな支援者がチームで支えていく、また、そのためのしくみをつくるなど地域福祉の視点が不可欠です。

近年では、身寄りのない人の支援など権利擁護支援の重要性が高まってきていますので、本会としては今後も力を入れて取り組んでいきます。



（左から）
福島主事、
渡邊主任、
大津副所長

- 名古屋市成年後見あんしんセンター
- 法人後見センターなごやかぽーと

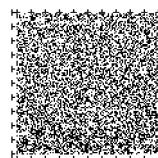
名古屋市成年後見あんしんセンター TEL：052-856-3939

法人後見センターなごやかぽーと TEL：052-856-2580

FAX：052-919-7585（共通）

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1

名古屋市総合社会福祉会館5階



わたしたちは名古屋市社会福祉協議会です

—「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋」の実現のために—

地域住民同士の助け合いをサポートします

- 地域支えあい事業
- ふれあい・いきいきサロン活動
- 地域福祉推進協議会（推進協）の支援

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住民が主体のまちづくりを支援しています。



生活の困りごとの解決を支援します

- いきいき支援センター
- 仕事・暮らし自立サポートセンター
- 住まいサポートなごや

本人やご家族などから生活の課題についてのご相談を受け、解決に向けて関係機関と協力しながら支援します。



ボランティア活動・福祉教育を推進します

- ボランティアセンター事業

ボランティアやNPO活動に関する情報発信や、ボランティアしたい方としてほしい方のマッチングを行います。
市内のボランティア団体のネットワークづくりも行っています。



判断能力に不安のある方の暮らしや財産を守ります

- 日常生活自立支援事業
- 高齢者・障害者権利擁護事業
- 法人後見事業

障がいや認知症などで判断能力に不安がある方の金銭管理や、成年後見制度に関する相談、申立ての支援を行っています。



在宅福祉サービスでその人らしさを応援します

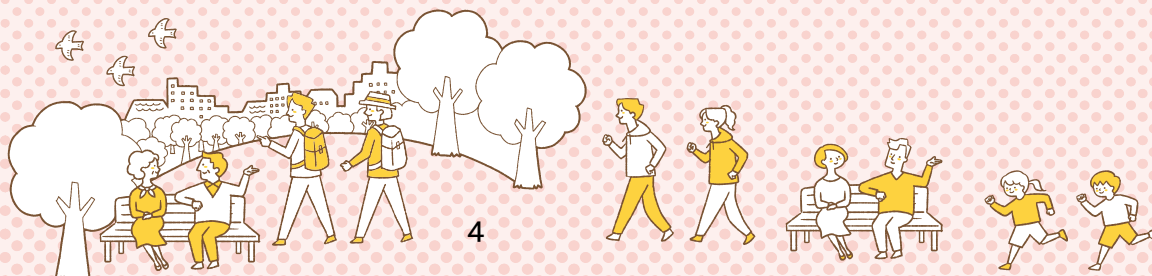
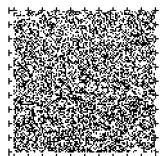
- なごやかヘルプ事業
- 居宅介護支援事業
- デイサービスの支援

ホームヘルパー（なごやかスタッフなど）の派遣や居宅サービス計画の作成などを通して、高齢者や障がいのある方の生活を応援します。



他にもこんな取り組みがあります

- 指定管理施設の運営（とだがわこどもランド、鯉城学園、総合社会福祉会館）
- 福祉サービス苦情相談センター
- 福祉基金の運営





Vol.62

天白区社会福祉協議会

■ともに生きる社会を目指して活動

「ともいく部会」

天白区社協が地域住民等と推進する「第5次天白区地域福祉活動計画」のもと、人々の多様性に気づき、尊重し、思いやりの行動に移せる地域・人づくりを目指して活動する「ともいく部会」。ともいく部会では、天白区内のボランティア団体や福祉機関等に所属する実践者を委員とし、地域の交流機会の創出や啓発活動に取り組んでいます。

■障がいのある方と体験する学習会を開催

令和7年8月27日には、「みんなで考え、学ぼう！適切な配慮とは？～障がいのある方と一緒に体験する学習会～」と題した学習会を天白生涯学習センターで開催しました。この学習会は、活動計画の実施項目「ともに生きるための社会的障壁（バリア）をなくそう」に基づき企画されたもの。ともいく部会委員が皆で力を合わせて企画・運営にあたりました。当日は、車いすユーザーの三好宏和さんらを講師として招き、社会的障壁（バリア）について学ぶ「講義」と、車いすで館内のバリアの点検と対応方法を考える「体験」プログラムに、13名の方が参加されました。

「案内板が反射して見えづらい」「車いすユーザーへの声のかけ方が重要」など、当事者の視点に立つことで生まれた、多くの「気づき」が共有されました。

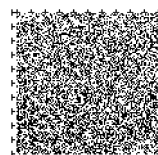
バリアに「気づく」ことが支援の第一歩

体験後、講師の三好さんは、さまざまな改善案が出たことの大切さに触れ、「障がいのある方がどこで困るのかを“知る”ことが、第一歩になる」と語りました。学習会の会場となった生涯学習センターのスタッフも4名参加し、「体験して初めて気づくことがたくさんあった。改善に活かしていきたい」との声が上がりました。

[次ページへ続く](#)


乗って、見て、触って気づいた車いす体験

「体験」プログラムでは、参加者が車いすに乗って館内を移動しながら、段差や扉の幅、案内表示の位置など、普段は気づきにくいバリアを体験。



今後の展望

学習会で司会を務めた近藤由利部会長は「この学習会をさまざまな場所で積み上げていき、多くの人の気づきにつなげていきたい」と展望を語りました。ともいく部会事務局の天白区社協の丹羽さん、岸本さん、加藤さんは、「区内の多様な皆さんと協働できることがこの部会の良いところ。このネットワークを大切に取り組みを続けていきたい」と話します。ともいく部会では、今回の学習会に加え、「出張ボランティア展」や「ポッチャによる交流会」なども実施。これからも“ともに生きる”天白区の実現を目指していきます。

問い合わせ先：

天白区社会福祉協議会

住所：名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3F
TEL：052-809-5550 FAX：052-809-5551



「ともいく部会」部会長
近藤由利さん

リレートーク



リレートーク 62



名古屋市重症心身障害児者施設 ティンクルなごや

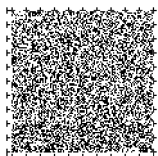
「名古屋市重症心身障害児者施設 ティンクルなごや」は、2015年4月に社会福祉法人むつみ福祉会が名古屋市より指定管理者として指定を受け、運営を開始しました。北区にある、保健・医療・福祉が一体となった複合エリア「クオリティライフ21城北」において、「名古屋市立大学医学部附属西部医療センター」や「ウエルネスガーデン」とともに、名古屋市民の質の高い暮らしを支えています。

当施設では、療養介護、医療型障害児入所、短期入所の3つの事業を展開し、医療と福祉が統合された支援を提供しています。医療的ケアや日常生活の支援を必要とする重症心身障害のある方々が、安心して過ごせる環境づくりを目指し、専門的な支援に取り組んでいます。特に療育活動や行事などのイベントでは、利用者の皆さまが楽しみや達成感を感じられるよう、さまざまな工夫を凝らしています。

また、近隣には自然豊かな「志賀公園」があり、四季折々の自然を身近に感じることができます。地域の方々が散歩や運動を楽しむ姿も見られ、親しみやすい環境に恵まれています。この環境を活かし、利用者の皆さまにも、穏やかで心豊かな日常をお届けしています。

開設から10年を迎えた現在、私たちは指定管理者としての役割を継続しながら、一步一步着実に歩みを進めています。

地域・在宅相談支援室長 小幡律子



次回はこちらへ
バトンタッチ！

名古屋ライトハウス 情報文化センター

旬ボウを行く!

ほっとはあと 01

多様な背景を持つ人々が安心して、 自分らしく暮らせる多文化社会へ【みどり多文化共生ボラネット】

外国人と日本人が、快適に安全に暮らせるような地域を作ることを目的に、2008年に設立された『みどり多文化共生ボラネット』。桶狭間荘を中心に、日本語教育、異文化交流、みどり多文化交流会の三本柱で活動されています。「外国人、日本人双方の居場所を作りたい」と活動している代表ポッダル プロビル クマールさん、日本語教室担当の藤井逸子さんにお話を伺いました。

●団体設立のきっかけは初代代表の 「言葉の壁」の経験から

藤井 初代代表（故人）が退職後に中国へ留学した際、「外国での言葉や文化の壁」で苦労された経験から、日本に住む外国人の言葉の壁や文化の違いによる苦労を理解し、何かできないかと考えたことがきっかけです。当時、桶狭間荘では外国人向けの支援はなく、ゴミの出し方などで外国人の理解不足がありました。そこで外国人と日本人の双方が快適に暮らせるようにと、地域の自治会長などに声をかけ、ゴミの出し方を話し合う場をつくるなどして、活動が始まりました。

クマール 自分は初代代表に誘われて、日本語も分からない状況でしたが、子どもも小さかったこともあり遊びに行くような感覚でイベントなどに参加していました。参加を通じて、一緒に運営をやってみたという気持ちで、今活動しています。外国人は仕事や家庭で忙しく、僕自身も忙しくて。当時は外国人同士の触れ合いが少なかったです。でも、イベントがあることで人とつながれたし、文化交流もできると実感しました。そして団体では毎年、「みどり多文化交流会」という大きなイベントや、災害時に外国人の困りごとを想定した災害マップ作り、料理教室など地域の方々とつながるイベントを開催しています。



多文化交流会は今年で18回目を迎えます



クマールさんと藤井さん



日本語でスピーチの練習もします



子どもの居場所にもなっています

●日本語教室は多文化共生社会実現の スタートポイント

藤井 コロナ禍後の2022年から日本語教室「MIDORI言葉のえき」として再開し、今はここを中心に交流イベントなどを行っています。大事にしているのは単なる学習の場だけではなく「居場所」になること。教室は日本語を使って交流し、そこで信頼関係ができたところで、様々な悩みを相談してもらえる関係になりたいと考えています。先日インド人のご家族から、母国で高校を卒業したお子さんの日本語が上達するにはどうしたらいいかと相談があり、学校などの紹介を行いました。実際にその後、語学学校への進学も決まりました。そういう困った時に相談できる場所になりたくて。これが一番嬉しかった出来事です。

クマール 日本語教室で人が出会い、会話を交わし、文化交流が生まれ、最終的に多文化共生社会へつながっていきます。ただ、本当に支援を必要としている人に情報が届いていないことが大きな問題と感じています。外国人も忙しく疲弊しています。私たちの活動をどのように届けるか、そしてどうすれば参加してもらえるのが今後の課題です。

●読者にメッセージをどうぞ。

藤井 もし興味があるようでしたら、ぜひ一度、多文化共生イベントに参加してみてください。

クマール みどり多文化共生ボラネットは、違いを受け入れ、共に成長できる社会を目指す市民のネットワークです。私たちは、緑が人を癒やすように、文化の多様性が地域を豊かにすると信じています。

これからも、ボランティア活動を通じて、多様な背景を持つ人々が安心して暮らせる地域づくりに力を尽くします。一緒に、「違いが力になる社会」を育てていしましょう。

日本語教室「MIDORI言葉のえき」(桶狭間第二集会所)

[子ども教室] 毎週水曜日16:00～17:30

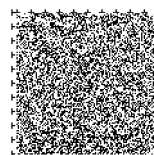
子ども向けの学習支援も行っています。

[大人教室] 毎週土曜日10:00～11:30

第18回みどり多文化交流会
開催します!

来てね!

2026年3月15日(日) 10:00～15:30
緑区役所講堂にて



問い合わせ先：みどり多文化共生ボラネット メール：midoritabunka@gmail.com



ボランティア・NPOらいぶ

ほっとはあと 02

先人たちから受け継いだ「熱田神楽」を次世代に。 【熱田神楽保存会】

各地の祭礼で奏でられる祭り囃子の音色には、大人も子どももわくわくさせる不思議な魅力があります。名古屋市民が古くから親しんできた熱田の杜に昔から伝わる「熱田神楽」の演奏をとおして、この地方の伝統文化を後世に伝える活動をなしている熱田神楽保存会の石川来民造さんに、神楽との出会いや次世代を担う子どもたちに期待する熱い思いを語っていただきました。

(ペンネーム：旅する食いしん坊YM)

●石川さんと神楽との出会いについてお聞かせください。

父の同級生に笛の先生がいらっしゃったのがご縁で中学生のころから稽古を始めました。毎日毎日、台風の日も休まず通ったことを覚えています。先生はもう亡くなりましたが、教えていただいたこの先生へのご恩返しの気持ちもあって、神楽に関わるようになりました。

●『熱田神楽保存会』としての活動はいつ頃から始められたのですか。

熱田神楽自体は1900年ほども前から続いてきたと言われています。熱田神楽保存会という名称で活動を始めたのは平成元年からで、熱田神宮への奉納という形で演奏することもあります。神社と言えば皆さんは雅楽を思い出されるかもしれませんが、熱田神宮（熱田さん）では私たちの神楽をお聞きいただく機会もあるというわけです。

●熱田神楽の保存・継承について石川さんの思いをお聞かせください。

保存会では、熱田神楽をこの地域に独特の伝統文化だと考えています。各地それぞれに神楽は存在しますが、熱田神宮を身近に感じながら暮らしてきた私たち地元の者にとって、熱田神楽は特別な思いを抱かせるものです。先人たちが大切に引き継いできた文化として私たちには継承する責任もあると思っています。

現在、保存会メンバーとして演奏するのは50名ほです。神楽継承の担い手の中心になるのは子どもたちですから、私は放課後クラスなどに出向いて小中学校の子どもたちにも神楽を教えています。だんだん上達して、楽器の指使いがうまくなっていく子どもたちの姿を見守るのは嬉しいものです。



代表の石川さん。
取材時にも演奏してくださいました！

教えるだけでなく、私自身が地元の祭礼で祭囃子の演奏に加わって演奏することもあります。また、神楽理解者の裾野を広げる活動の他に、地域の福祉施設や南区民まつりでも演奏を披露しています。

●最後に、子どもたちやまちの皆さんにメッセージをいただけますか？

子どもたちが神楽を楽しみながら、地元の伝統文化を伝えていってくれるよう心から願っています。また、子どもたちと関わる機会の多い先生方も、ぜひ神楽など日本の伝統音楽に関心を持っていただければと思います。

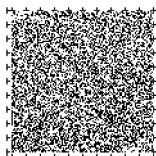
先人の遺した文化を次の世代に伝えていくという営みは人間だけのものですから…



月1回の練習会には親子参加の方もいるそう



神楽装束を身につけ奉納します



問い合わせ先：南区社会福祉協議会

TEL：052-823-2035 FAX：052-823-2688

なごやボラめぐり

ほっとはあと 03



録音編集の様子



メンバーで確認しながら作業を進めます

中区 声で届ける「パンジー声の文庫」について紹介します！

◎どのような活動をしているのかお聞かせください。

「パンジー声の文庫」は、広報なごや中区版と、中区社協情報紙「しあわせネットワークなか」の音訳を行っています。活動内容としては、誰がどの部分の読みを担当するかを決める「割り振り」と、各自が録音した音声をメンバー同士で確認し、必要に応じて修正を行う「編集」を行っています。結成から25年ほど経ちますが、常にわかりやすい読みを心がけ、誤解を与えないよう、伝え方を工夫することを、メンバー全員が大切にしています。

◎印象に残っていることは何ですか？

区内のイベントでの朗読や、中区在宅サービスセンター完成式で司会をしたこと等が特に印象に残っています。また、以前行われていた「福祉のつどい」では、音訳の活動を実際に体験できるブースを設け、多くの方に体験いただいたことが、とても嬉しかったという記憶があります。

◎大変だったことは何ですか？

活動の歴史の中で、カセットテープを使っていた作業から、コンピュータによる作業へ移行した際は、録音や編集作業に苦労しました。名古屋ライトハウスへ何度も勉強しに行ったり、パソコン作業が得意なメンバーから聞いたりして学び、何とか対応することができました。

◎今後の展望についてお聞かせください。

新型コロナウイルスが流行した以降、活動が制限されたこともあり、学習会を実施することができていません。学習会を実施することで、既存メンバーの技術維持・向上につながるだけでなく、新メンバーが今後加入される際に、読みの練習の機会が増えるといった面もあります。今後は学習会を復活させられるよう、メンバーみんなで切磋琢磨して頑張っていきたいと思っています。

問い合わせ先：中区社会福祉協議会 TEL：052-331-9951 FAX：052-331-9953

瑞穂区 JAZZで地域を元気に、『N・J・T』の代表・古田さんにお話を伺いました。

◎「N・J・T」とは何ですか？

N・J・Tは令和6年に設立された団体です。N・J・TというのはN…なんちゃって、J…ジャズ、T…トリオの略です。代表の古田さんは学生時代からベースを主に演奏されていたそうで、「ジャズやるなら見た目に映えるサクソフォン、サクソフォンならジャズでしょ」ということで現在に至ります。依頼された案件に対して、メンバーの構成を考えてその都度仲間の中から古田さんが決めてお誘いするそうです。

◎トリオの秘密を教えてください。

数年前に話題となった映画「ブルージャイアント」。ジャズを軸とした青春映画ですが、この映画ではベースが存在しないのだそう。古田さんはこの作品を見て「なぜベースを入れないのか」と興味を持ち、試したい気持ちもあってサクソフォン、ピアノ、ドラムのトリオで活動をされています。ただ、実際にベース無しでの演奏は極端に難しいのだそうです。活動の日程調整がしやすいこともトリオの利点ということで、グループのメンバーとともに多くの方にたくさん音楽を届けたいという思いをもって活動されています。

◎活動に込めた思い、今後の展望をお聞かせください。

お仕事と両立して趣味である音楽を楽しんできた古田さん。年齢を重ね、得意な音楽を通じた社会貢献を意識されるようになったそうです。「演奏をする限りは、聴いてくれる方の気持ちに沿って取り組みたい。

依頼してくれる方、聴いてくれる方の聴きたい音楽も様々。さらに期待に応えていくことができるように、今は昭和歌謡やアップテンポの曲など演奏のジャンルを広げていこうかな」と模索されています。



左から、片岡さん(ドラム)、古田さん(サクセス)、志津さん(ピアノ) わんぼていと (ドッグカフェ兼福祉施設) にて



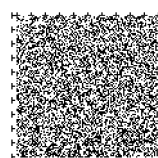
高齢者福祉施設での演奏の様子 (左から志津さん(ピアノ)、中山さん(ドラム)、古田さん(サクセス))

問い合わせ先：N・J・T(代表：古田) goodmakerjp@yahoo.co.jp

ひとことほっとはあと

毎年、近所の方々をお誘いして祖父母の故郷富山県の巨大西瓜(20kg)を食べています。10回目の今年は、お引越しま近のKさん宅近くにある小さな公園へえんやらこらさと西瓜を運び、総勢18人で平らげました。

『おいしいなあ、ここで子育てもしたし、幸せやった…』とKさんご夫妻、『主人にも…』と霊前に供える一切れを受け取るYさん、『子どもの頃から何十年ぶりやろ、懐かしい』と笑顔の富山出身Oさん…西瓜は大勢で食べるほうが断然おいしいですね。ごちそうさまでした。(旅する食いしん坊YM)





いきいきレシピ

豆腐でたんぱく質をプラス！
ニラとチーズのヘルシー
チヂミ



材料（2人分）

豆腐（絹ごし）… 150g（約1/2丁）
ニラ…………… 1/2束
にんじん…………… 30g
卵…………… 1個
ピザ用チーズ…………… 50g
片栗粉…………… 大さじ4
鶏ガラスープの素…………… 小さじ1
ごま油…………… 大さじ1
＜タレ＞
ポン酢しょうゆ…………… 大さじ2
ごま油…………… 小さじ1/2
白いりごま…………… 小さじ1

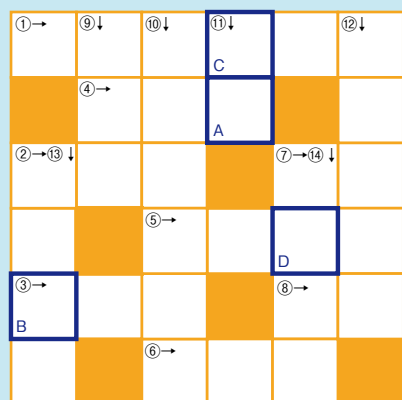
豆腐でたんぱく質をプラスした、外はカリッと香ばしく、中はもっちり食感のチヂミです。香り豊かなニラとチーズのコクが相性抜群で、食べ応えがありながらもヘルシーな一品。にんじんを加えることで見た目が華やかになるだけでなく、ビタミンAを補えるのも嬉しいポイント。軽食やおつまみはもちろん、主菜としても満足感のあるレシピです。

- ①ニラは3～4cmに、人参は細切りに。豆腐は軽く水を切っておく。
- ②ボウルに豆腐、片栗粉、鶏ガラスープの素、卵を入れてよく混ぜる。そこへニラ、人参、チーズを加える。
- ③フライパンにごま油を熱し、生地を広げ入れる。中弱火でフタをして5～6分蒸し焼き。
- ④片面がよく焼けたらひっくり返し、油を少量足して（分量外）、中火～強めでカリッと焼き上げる。
- ⑤食べやすく切り、タレを添える。

プレゼントつきクイズ

クロスワードパズルを解いて、プレゼントをもらおう！

タテ、ヨコのカギを解いて色枠に入った文字をA～Dの順に並べると、ある言葉になります。



ヨコのカギ

- ①卵とチーズの濃厚パスタ。ベーコンと黒コショウが決め手
- ②会話や文章の雰囲気を目指す言葉。やさしい〇〇〇で話す
- ③腕の良い医者を目指す言葉
- ④激しい風と雨が襲う気象現象
- ⑤柔道や剣道で相手と技を交えること
- ⑥冬にコートやセーターを重ねる行為
- ⑦笑う〇〇には福来る
- ⑧新生活や出会いの季節

タテのカギ

- ⑨釣りで使う疑似餌
- ⑩社会貢献のための奉仕行為
- ⑪秋に旬を迎えるシャリシャリした果物
- ⑫小学生が背負うカバン
- ⑬物がくっきり透けて見える状態
- ⑭皮を剥くようにさばく魚

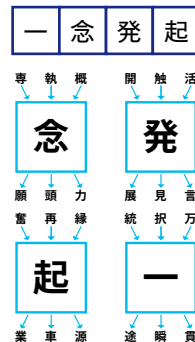
正解発表

3月以降、本会HPに掲載。また、2026年夏号誌上にも掲載いたします。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について

応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。いただいたご意見・ご感想の一部を次号の「読者の声」でご紹介させていただく場合があります。

前回の答え



応募要項

郵便はがきに①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のあった記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1 名古屋市社会福祉協議会「ふれあい名古屋」係

締切は2026年2月28日必着

読者の声

前号
ふれあい名古屋
夏号より

●旬ボラに行く！について

前津中学校の生徒さんが地元の大須夏祭りのボランティアにかかわっているのはかけがえのない体験でステキですね。大変なこともうれしいこともALL自分自身の成長に繋がっていきますね。

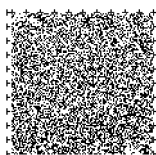
●特集「なごや・よりどころサポート事業」について

初めて「ふれあい名古屋」を手に取りました。私がお世話になっているはつらつ長寿の事業のみと思っておりましたが高齢者だけでなく年齢幅広くいろいろ活動されている事に驚きました。

おたより
ありがとうございました！



な～や



INFORMATION

社協からのお知らせ

■ 鯉城学園 入学生募集！〈知りたい やってみたいを応援〉

鯉城学園は「高齢者の生きがいづくりと、地域活動の核となる人材の養成」を目的として設立されました。令和8年4月入学生を募集します！

鯉城学園には、幅広い知識を身に付けていただく「共通講座」とICTなど暮らしに係ることや福祉、美術など自分の関心のあることを学ぶことができる8種類の「専攻講座」があります。その他にも、仲間とともに活動する学生会やクラブ活動などもあり、充実した学園ライフをおくることができます。

各専攻の募集人数などの詳細は、区役所・支所、区社会福祉協議会、生涯学習センター、図書館などで配布される令和8年度入学案内をご覧ください。また、入学案内の送付をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。



学園ライフの風景

- 対象 名古屋市内に住所を有する60歳以上（令和8年4月1日現在）で、地域活動に参加する意欲のある方（ただし、本学園を過去2回卒業した方は除く）
- 出願期間 令和8年1月9日（金）～令和8年2月10日（火）

問い合わせ先 名古屋市鯉城学園 | 〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13号（伏見ライフプラザ内） TEL：052-222-7521 FAX：052-222-7523

■ 多様性を認め合い、ともに築く共生社会へ（市民講演会のご案内）

アートや音楽、映像、舞台などのエンタメを通じて、誰も排除しない“まぜこぜの社会”をめざす、一般社団法人「Get in touch」の代表を務め、俳優としても活躍中の東ちづるさんによる特別講演をお届けします。障害のある人もない人も子ども大人もみんながまぜこぜの「共生社会」の実現について考えます。

- 日程 令和8年2月7日（土）13：30～15：40
- 会場 鯉城ホール（中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ5階）
- 定員 650名（事前申込制、応募多数の場合は抽選）
- 内容 第1部 基調講演「障害者差別解消法がめざす社会」
第2部 特別講演「誰も排除しない『まぜこぜの社会』をめざして」
- 申込み 令和8年1月21日（水）必着
・お一人様1回限り、2名まで
・二次元コードまたはハガキから申込
・ハガキの場合は、申込者氏名・郵便番号・住所・電話番号・同伴者氏名・必要な配慮を明記のうえ、下記へ郵送

参加費
無料

東 ちづるさん

問い合わせ先 名古屋市障害者差別
相談センター

〒462-8558 北区清水4-17-1 名古屋市総合社会福祉会館5階
TEL：052-856-8181 FAX：052-919-7585 Email：inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp

■ 市民と創る共生社会（兼キャラバン・メイトフォローアップ研修会）

認知症基本法の施行、市認知症条例の改正を踏まえ、私たちが身につける“新しい認知症観”とそれを市民と共有する意義を考えます。

- 日程 令和8年1月19日（月）14：00～17：15（受付開始13：30）
- 会場 吹上ホール メインホール（千種区2-6-3 吹上ホール7階）
- 対象 名古屋市キャラバン・メイト、認知症サポーター、その他の専門職等
- 定員 400名程度（申込先着順）
- 内容 第1部 講演 繁田雅弘氏（栄樹庵診療所院長・日本認知症ケア学会理事長）
第2部 実践報告 共生社会づくりに参加している企業・学生・チームオレンジ等
- 申込み 令和8年1月12日（月）締切
右記二次元コードまたはFAXから。FAXには、氏名・住所区・勤務先・電話番号を書いて送信ください。

参加費
無料

繁田 雅弘さん

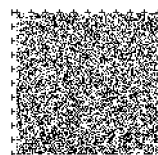
■ “介護サービスだけではない” 自分らしく輝ける居場所とは（令和7年度若年性認知症講演会）

認知症＝介護ではなく、福祉的就労、認知症カフェ、本人ミーティング、ピアサポート等、認知症の人が自分らしく輝ける居場所について参加者を含め皆で考えます。

- 日程 令和8年2月14日（土）14：00～16：30（受付開始13：30）
- 会場 鯉城ホール（中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ5階）伏見駅南へ徒歩7分
- 定員 500名（申込不要）※満席の場合、お断りすることがあります
- 内容 第1部 基調講演 宮尾眞一氏（名鉄病院認知症疾患医療センター長）
第2部 シンポジウム 居場所をみつけた当事者とサポートする人たち

参加費
無料

宮尾 眞一さん



問い合わせ先 名古屋市認知症
相談支援センター

〒466-0027 昭和区阿由通3-19 昭和区役所6階
TEL：052-734-7079 FAX：052-734-7199 Email：n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp

ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和7年5月16日～令和7年10月31日受付分（敬称略・順不同）

■福祉基金への寄付

住谷 学
田中 裕三
フクシマガリレイ株式会社中部支社
野田 有紀
民生委員児童委員大会街頭
募金箱

名古屋市社会福祉協議会職員
ワンコイン運動
IGアリーナ福祉基金街頭募金
通いの場募金箱
匿名14件

■市社会福祉協議会への寄付

アマゾンジャパン合同会社
DCJ4中村デリバリーズステーション
三澤 正和
匿名4件

■なごや・よりどころサポート基金への寄付

住谷 学
山口統平法律事務所
匿名1件

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和7年度会員（令和7年10月31日現在）（敬称略・順不同）

小池 博美
株式会社マルワ
鷺見 修
木村 剛
株式会社せがわ住機

富田 哲生
三谷 洋一
北村 泰幸
永井 瑛資
東洋羽毛東海販売株式会社

株式会社ウイングス
石田 栄美子
立松 博
王 神
カシワギ電気株式会社

竹中 規子
新田 洸平
大名古屋設計事務所
匿名3件

ご寄託ありがとうございました

（令和7年5月16日～令和7年10月31日受付分）※敬称略

■使用済切手・書き損じはがき・使用済テレホンカード・ベルマークなど

日本発条株式会社名古屋支店
天白まちづくりサポータークラブ
マミーベア保育園うえだきた
SOMPOケア
ラヴィーレレジデンス徳川園
服部とみ
緑区はつらつクラブの皆さま

NPO法人ネット
心理教育ピアサポート
渡辺正弘
DOTS MEOW MORIYAMA
毛利碩
山岸真弓
名古屋市信用保証協会

保木一宏
株式会社サンゲツ
名古屋ロードサービス株式会社
子育てピアフレンズmore
杉野友昭
蔦井株式会社
小島宜子

明治安田生命保険相互会社
名古屋東支社大曾根営業所
雁ぶらシヨップ
ひまわり会
名古屋文理大学短期大学部
白川ハーモニック・クラブ
手話サークル太陽

■千種・東・北・中・昭和・熱田・中川・守山・天白区社会福祉協議会受付分

匿名27件

■ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

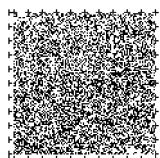
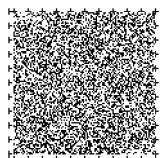
※使用済切手の仕分け整理は、「ポストの会」「-なごや北-男ディ倶楽部」「医療法人名北会デイケアSole」の皆様にご協力いただきました。

団体名	活用方法
認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会	ワクチン支援
公益財団法人 緑の地球防衛基金	中国榆林市東陽山、タンザニア・キリマンジャロでの植林活動
認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会	バングラデシュなど南アジアの地域で農村開発や災害対策の支援活動

社協からの お知らせ

■共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月1日から12月31日まで実施しました共同募金運動では、市民の皆様から、たくさん募金が寄せられました。心より厚くお礼申し上げます。寄せられた募金は、市区社会福祉協議会に配分され、お住まいの地域の社会福祉事業の推進や、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らせるための福祉活動等への配分に活用させていただくほか、市町村を超えた広域的な課題を解決するため、全県規模の活動にも活用されます。募金の実績及び配分先は、愛知県共同募金会ホームページ<http://www.aichiakaihane.or.jp/>でも紹介しています。



ホームページはねっと



お問い合わせ先

名古屋市
共同募金委員会

TEL:052-911-3192
FAX:052-913-8553

※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。
※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。
※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。

広報紙「ふれあい名古屋No.150」

発行日：令和8年1月1日 発行部数：13,000部



ひとに、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558

名古屋市北区清水四丁目17番1号

名古屋市総合社会福祉会館内



TEL 052-911-3192 FAX 052-913-8553

ホームページ <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp

